

報恩講 & 土井音楽教室の演奏会



去る12月1日(日)の午後1時～徳成寺において、親鸞聖人報恩講が勤まりました。さほど寒くなく快晴に恵まれ、ご覧のように大勢の皆さんにお参り頂くことが出来、ありがたい限りでした。

親鸞聖人がお亡くなりになって760年以上の時を経て、毎年毎年今も浄土真宗の寺院で営まれています。この報恩講をお勤めすることが、浄土真宗の浄土真宗たる所以であると言っても過言ではない重要なお勤めです。皆さんとお勤め出来る幸せを感じながら勤めました。

今回、感話をして下さったのは、松本玲子さんです。当寺と長らくのお付き合いと、お寺を大事に下さったご母堂様との思い出を語って下さいました。懐かしく思い出しました。また、右のお写真のように仏教徒に生まれ変わる帰敬式を受式された方が3名いらっしゃいました。親鸞聖人が世に出られたおかげで、この機会に恵まれたのは言うまでもありません。受式者の皆さん、誠におめでとうございます。今後も、日々のお勤めと年中行事へのお参りを続けて行ってくださいませ。



住職の法話で『朝刊とかけお坊さんと解く』その心は?』となぞかけをしながら、最後に答えを伝え忘れました。正解は、袈裟着て経読む(今朝来て、今日読む)でした。

本年最後の寺ともサービスデーは、土居音楽教室の皆さんによる演奏会でした。小学生から主婦の皆さんまで、ドラムの楽しさを存分に発揮して頂きました。格好いい。

